

## 溶材組合に知事から感謝状

～豚熱防疫活動に貢献～

三重県知事から、今年2回発生した豚熱の防疫活動に貢献したとして、2月および7月に感謝状が、溶材組合に贈られました。

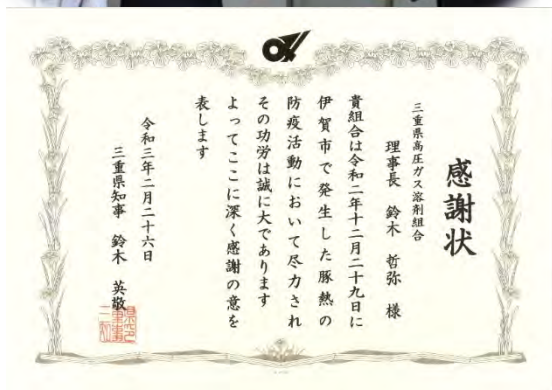
この感謝状は、2019年7月に三重県内で初めて発生した豚熱の防疫活動に次ぐものです。(本誌第65号参照)

一つは、2020年12月29日に伊賀市で発生した豚熱の防疫活動に対するもので、2021年2月26日、三重県農林水産部畜産課の巽家畜防疫対策監が組合事務局を訪れ、鈴木理事長、高須理事が感謝状を受け取りました。

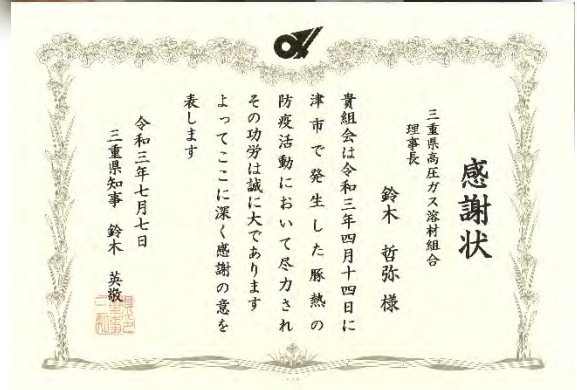
もう一つは2021年4月14日、津市で発生したものに対するもので、7月7日、高山農林水産部家畜防疫対策課長から、鈴木理事長、友保理事が、組合事務局で受け取りました。

溶材組合は、三重県と家畜の伝染病防疫活動に際して炭酸ガスを供給する協定を2011年に結んでおり、感謝状は、この協定に基づいて炭酸ガスを迅速に供給し、防疫活動に尽力したことに対するものです。

溶材組合では、今後も豚熱や鳥インフルエンザ等の発生時には、炭酸ガスを迅速に供給することを約束すると共に、炭酸ガスの需給状況などの課題について意見交換しました。



2月26日、巽家畜防疫対策監から



7月7日、高山家畜防疫対策課長から